



日章学園九州国際高等学校校長便り 師走

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：自分を磨け

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和6年(2024年)12月2日(月)校長 屋田伸仁



# Make haste slowly

英語のことわざにMake haste slowly.があります。日本語訳は、「ゆっくり急げ」、ことわざは「急がば回れ」です。これは、早く行こうとあせって、近道を行けば、行き止まりだったり、邪魔が入ったりして、時間が余計にかかってしまう。遠回りでも、大きい道を行った方が早く到着する、ということを表しています。生徒の勉強を例にとると、英検3級を受けないで、いきなり英検2級に挑戦して、がむしゃらにがんばったけど、結果は不合格だった。それよりも、英検3級の基礎からやり直して、わからないところをひとつずつマスターしてから、英検3級、次に準2級、そして2級というふうに取り組んで行った方が結果がよいということです。できないところから、ひとつずつやり直していくことが勉強ができるようになるコツです。本校には中学校時代、不登校で勉学に不安を感じる生徒もいます。本校では、**少人数指導**で中学校からの**学び直し**をしています。

日本には多くの大学があり、受験のチャンスも多くあるということが、留学生に人気があるようです。今まで留学生を観察してきて、よく合格するタイプと、あまり合格しないタイプに分かれると感じます。あまり合格しないタイプは、理想の難関大学しか、受験しない生徒です。よく合格するタイプは、最初に簡単な大学に合格し、難易度を上げながら、成功体験を重ね、最後に理想の難関大学に合格する生徒です。簡単な大学から、難関な大学へ受験するやり方は、遠回りなようで、近道のような感じです。ここでも、**Make haste slowly. 「急がば回れ」**が活かされていると思います。

学校PR

## 豊かな自然に癒やされる学校



あるテレビ番組を見ていると、レポーターの方が、暑い夏が終わると、急に寒さを感じて、秋を感じなくなってきたと言っていました。同感です。最近、秋が一瞬で過ぎ去った感じがします。

さて、本校の面積は、東京ドーム1個半の大きさです。その中に、校舎や寮、職員住宅があります。寮生は毎朝、寮から出て敷地内を集団登校しています。道中歩きながら、四季折々の草木や花々も見ることができます。**2月は梅、4月は桜、5月はつつじ、6月はあじさい、9月は彼岸花・・・**と一年を通して季節の花々を愛でながら歩けるので、心が癒やされます。また、学校は、**霧島連山**に囲まれています。霧が立ち昇る朝冷えの朝は、霧の上に山々が浮かんでいるのを見る

時もあります。まさに「霧島」です。えびの市は都会の喧騒とした雰囲気はありませんが、自然豊かで、静かな環境にあり、生徒達にとっては、**落ち着いて学校生活や勉強ができる絶好の場所**だと思います。

### 【ジュリアスカレンダー】

先月号の学校便りで、英語の月名の9月から12月までは、2カ月ずれていると書きました。その理由は、ローマの英雄、**ジュリアス・シーザー**にあります。シーザーはこれまで使っていた太陰暦を太陽暦に変えました。太陰暦と太陽暦の2カ月のズレを修正するために、自分の名前を冠した「**ジュライ**」(7月)という月を新設。もうひとつの8月には、シーザーの養子で、後に皇帝になる**アウグストゥス**が、自らの名前を冠して「**オーガスト**」としました。2人の偉大な皇帝の名前が横入りして、太陽暦のカレンダーが生まれたのですね。**異文化理解**は本当に興味深く、おもしろいです。

